



廣澤 尚之

宮崎県椎葉村尾前方言の文法記述をしながら、情報構造やイントネーションについても追いかけています。ある土地の方言を学びたいと思った人が、外国語を学ぶように勉強できる『ニューエクスプレス〇〇方言』を作りたい、それが私の研究のスタートです

Contact

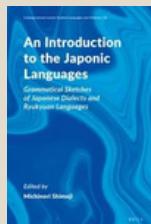
✉ | hirosawa.naoyuki.902@s.kyushu-u.ac.jp

▶ | https://researchmap.jp/naoyuki_h

Major & Works

● descriptive grammar

宮崎県椎葉村尾前方言の記述文法作成



約30ページの文法概説
Shimoji & Hiroswa
(2022) Shiiba (Kyushu Japanese)

● information structure

「ハもガも使えない文」の方言間変異

廣澤・松岡・下地（近刊）

「方言変異からみる「ハもガも使えない文」—宮崎椎葉尾前方言、鹿児島串木野方言、標準語の対照を通して」

● prosody

無アクセント方言（尾前方言を含む）の韻律、特に韻律句形成とその機能の解明

● learning dialects

方言教材の作成、国語教育での活用

廣澤（近刊）「文法教育の一環としての方言教育—「高校生のための方言講座」実践報告」

業績の文献情報の詳細はContactのHPから

「ハもガも使えない文」について

● 標準語では出ないところに現れる主題助詞
宮崎県椎葉村尾前方言

発見文脈の存在文では、主語は主格助詞を取るが(1)、主語要素が談話に既出である場合は主題助詞も取れる(2)。

- (1) haijaa=no kita.
タクシー=主格 来た
(唐突に)タクシー來た！
(2) haijaa=no/wa kita.
タクシー=主格/主題 来た
(電話で呼んだタクシーを待っていて)タクシー來た！

存在文ではなく、Event-reportingな発見文の場合も、主格助詞と主題助詞のどちらも取れる(3)。

- (3) singooki=no/wa taoretoruhuu.
信号機=主格/主題 倒れているようだ
信号機倒れてる！

主語がダイクシス表現を伴うときは主題助詞しか取らない(4)。

- (4) ano tokee=wa tomattoruhuu.
あの 時計=主題 止まっているようだ
あの時計止まってる！

(2)や(4)は、標準語研究で「ハもガも使えない文」と呼ばれる。

● 整理と一般化

「情報構造のクロスモデル」の提案

尾前方言をはじめ、諸方言での振る舞いを見ると、主語が取る助詞を決定する共通する変数が見えてくる。（以下の「情報構造のクロスモデル」）

情報構造のクロスモデル 尾前方言版		談話に指示対象を導入		
		Thetic	Event-reporting	Categoric al
主語が談話に初出	New	no	wa/no	wa
主語が談話に既出	Old	wa/no	wa/no	wa

主題助詞は通方言的に右下ほど出やすく、左上に行くにつれて出にくくなる（モデルと一般化について詳しくは：廣澤・松岡・下地 近刊）